

船舶事故等調査報告書

平成22年12月16日  
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故等番号	2010横第170号	
事故等種類	衝突	
発生日時	平成22年7月19日（月、祝日） 12時00分ごろ	
発生場所	愛知県蒲郡市三河港蒲郡ヨットハーバー東防波堤灯台から真方位210° 2,300m付近 (概位 北緯34°47.3′ 東経137°14.3′)	
事故等調査の経過	平成22年9月2日、本事故の調査を担当する主管調査官（横浜事務所）を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。	
事実情報 船種船名、総トン数 船舶番号、船舶所有者等	A 水上オートバイ <sup>ラブ</sup> LOVE、0.2トン 240-60569愛知、個人所有 B 水上オートバイ デン、0.2トン 240-62452愛知、個人所有	
乗組員等に関する情報	A 船長A、特殊小型船舶操縦士 B 船長B、特殊小型船舶操縦士	
死傷者等	なし	
損傷	A 船首部に擦過傷 B 左舷船尾外板に亀裂	
事故等の経過	A船及びB船は、三河港内の三河大島周辺を遊走後、機関を中立として両船が接近して漂泊していた。 船長Aは、ハンドルから手を離して背伸びをしたとき、船体が揺れてバランスを崩し、海中転落しそうになったので、ハンドルにつかまったところ、アクセルが増速側に動かされて急発進し、平成22年7月19日12時00分ごろ愛知県蒲郡市三河港蒲郡ヨットハーバー東防波堤灯台から真方位210°2,300m付近でA船の船首部と約8m離れて漂泊していたB船の左舷船尾部が衝突した。 衝突後、両船は、自力で愛知県豊川市にある所属マリーナに戻った。	
気象・海象	気象：天気 晴れ、風 南南西、風力 2、視界 良好	
分析	乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象の関与 判明した事項の解析	あり なし なし A船及びB船が、三河港において接近して漂泊中、A船が、急発進し、B船と衝突したものと考えられる。 船長Aは、落水を避けようとしてハンドルにつかまったとき、アクセルが増速側に操作されて急発進したものと考えられる。
原因	本事故は、A船及びB船が三河港において接近して漂泊中、A船が急発進したため、両船が衝突したことにより発生したものと考えられる。	